

ちゅうせいやまじろあとたんけんかいほうこくしょ

中世山城跡探検会報告書

かめいやまじょう

亀井山城跡



亀井山城跡 空撮写真

出水市教育委員会生涯学習課

平成 28 年 3 月

1 大会の目的

中世山城跡は、遺構が良好に残っていても、雑草や樹木などが繁茂しているところが多いため、大事な遺構が隠れてしまい、人目に付きにくくなっていることが多いようです。最悪の場合、山城遺構の存在が忘れられてしまい、その結果、知らない間に工事などにより遺構が消えてしまうことが心配されます。

そこで出水市教育委員会では、このような市内の中世山城跡を舞台に、新たな遺構発見を目指しながら中世山城跡に実際に足を踏み入れることで、新しく発見された遺構や、目の前に姿を現した本物の遺構に感動することで、市内の中世山城跡についてさらによく知ってもらおうと、探検会を企画しました。

第2回目の探検会は、山城の中心部の本丸が市指定史跡の亀井山城跡です。

2 亀井山城跡について

今からおよそ 850 年前の平安時代の終わり頃に山門院郡司職の平種国がこの城を築いたとされています。

後に島津氏の居城である木牟礼城を擁護するなど、島津氏の三国経営（薩摩・大隈・日向）を助けた重要な山城でした。

亀井山城は土塁で囲まれた曲輪1（本城跡）と曲輪2（蔵之城跡）が中心で、その他にも大・小 12 の曲輪があり、これらを合わせた 14 の曲輪で亀井山城を構成しています。山城の東西には敵の侵入を阻むような湿地帯があるなど、自然の地形をうまく利用した亀井山城全体の広さは 50 万平方メートルにも及ぶ巨大なものです。

3 探検会の概要

(1) 名称 平成 27 年度中世山城跡探検会「亀井山城跡」

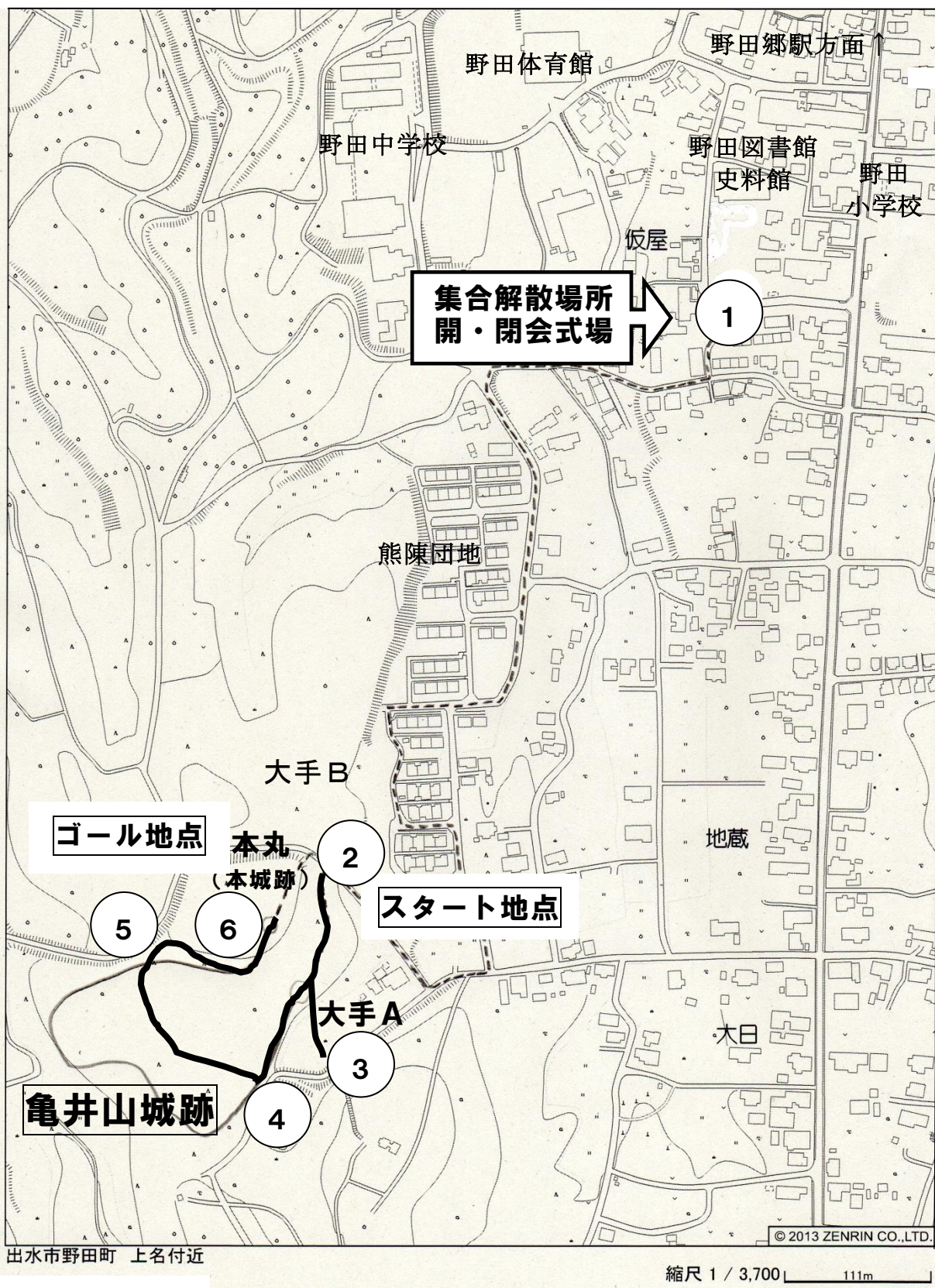
(2) 日時 平成 27 年 12 月 19 日（土）午前 9 時～正午

(3) 参加者 36 人

(4) コース [集合・開会式場]野田老人福祉センター

～土居・空堀～大手口～蔵之城跡～本城跡～

[閉会式場・解散]野田老人福祉センター



亀井山城跡 探検会コース図

※丸囲み数字の位置は、次頁 4 活動の紹介 の場所です。

4 活動の紹介

①開会行事



開会行事は野田老人福祉センター前で行われました。親子連れなど35人の参加がありました。

③大手



山城の正面玄関である「大手」です。ここから山城の中心部の本丸(本城跡)へ向かって探検が本格的に始まります。

⑤やぶに隠れた山城遺構



参加者はやぶに隠れた山城の遺構をあらかじめ配られたカマなどで取り払いました。何か発見があった!?

②スタート地点



探検のスタートは亀井山城の本城跡近くの「土居」から。まずは山城の玄関の「大手」を目指します。

④探検の風景



参加者は職員の案内・説明で山城を探検します。ここは外からの攻撃を防ぐための陣地で「帯曲輪(おびぐるわ)」といいます。

⑥本丸(本城跡、ゴール)到着



ゴールの本丸は「本城跡(ほんじょうあと)」と呼ばれています。ここでは鬼塚清重(おにつかきよしげ)先生など3人の先生方に亀井山城にまつわる話をしていただきました。

5 参加者の感想

- 子どもと楽しく参加できた。子どももたのしんでいた。
- 現地での詳しい説明があり、とても勉強になる。座学よりもとても頭に入るので良い。
- 出水に住んでいても知らない事ばかりでこのような機会ですら少しでも知ることができ、とてもよかったです。子供達が希望しての参加でしたが、とても喜んで、楽しかったです。
- 埋れた(人知れていない)山城等今回のような探検会で少しでも多くの地元の人にふれてほしいなと思いました。私自身もなにも知らなかったなと思いました。良い機会に感謝です!! お疲れ様でした。ありがとうございました。
- 守る側の城の効力が現地を訪れて分った。当時の道具であれだけの施設を作ったことに、どれだけの稼働がついやされたことか! かり出された庶民の苦難に想いをはせます。今後もしどしもうけてもらいたい。
- 地元こんな中世の山城があったことは、本日の探検会で初めて知りました。島津忠兼(ただかね)公 450 年祭と共に大変有意義な催しでした。有難うございました。
- お城が好きで色々な所を廻っておりましたが、今年1月の山城探検に参加し、新たな魅力が発見されました。書物による知識ではなく、実際に見、体験することで、より実像に近づけたと思います。今企画への感謝と共に、今後継続されることを強く望みます。武家屋敷等にも告知されると希望者が増えるのではと思います。
- 細部まで探索したのは初めてです。台風による倒木で散策はこんな機会が無いと出来ませんでした。これを機にまわりの方にも今回の体験お話等を紹介して関心を広めたいと思います。ありがとうございました。
- 今回の城跡めぐりは、初めて野田の歴史がかいまみて、勉強になりました。次回は異なるとこの企画も楽しみです。
- 歴史ある城の保存をお願いします。簡単な説明の看板を立て、トイレや出水平野を展望するやぐらがあれば、訪れる人も理解できると思います。
- 今回は参加できて大変よかったですと思います。歴史について勉強をしたいと思います。この体験を広めていきたいです。
- 中世の山城のつくりがよくわかった。冬の晴れた日の開催でよかった。当時の状況のイメージ図などがあればもっと楽しそう。ありがとうございました。
- どこにあるか全く知りませんでしたので、大変興味深く探索させてもらいました。立派な山城で、よく特徴がわかりました。
- 今回 2 回目ですが、毎年実施をお願いします。出水市に山城が 24 もあることにおどろきました。もう少し話を聞きたいと感じました。土地の話もおもしろいでした。
- 歴史には、必ず城が登場し、城には必ず領主がいた。城が、住民に与えた影響は絶大なのだ。城には、その土地のロマンと怨念(おんねん)が詰まっているといわれる。今回の野田の亀井山城跡探検会に参加して、山城の土塁・横堀(よこぼり)・堅堀(たてぼり)・虎口(こぐち)・曲輪の姿がよく理解できて、城に対する理解がより深まった感じがします。亀井山城は、今から 450 年前(1565 年)に廃城となったとはいえ、その山城の姿が、深い草・竹・シダらにおおわれていても、鎌で切り、みんなとともに曲輪の下を進むと、いつも上の曲輪の平地から下を見るのではわからなかった、山城の全体がわかったような気がした。ひとりでいくことも大事だが、こうしてたくさんの歴史好きの仲間といくと、城一つをとっても、意外な発見があり、とても意義ある探検会であった。

※この他にもたくさんの御感想や御意見をいただきました。

ありがとうございました。

6 まとめ

大会当日は穏やかな晴天の下での開催となりました。探検会場の亀井山城跡内は、前日までの雨の影響が多少心配されましたが、歩行などに特に問題は無く、会はスムーズに進行できました。

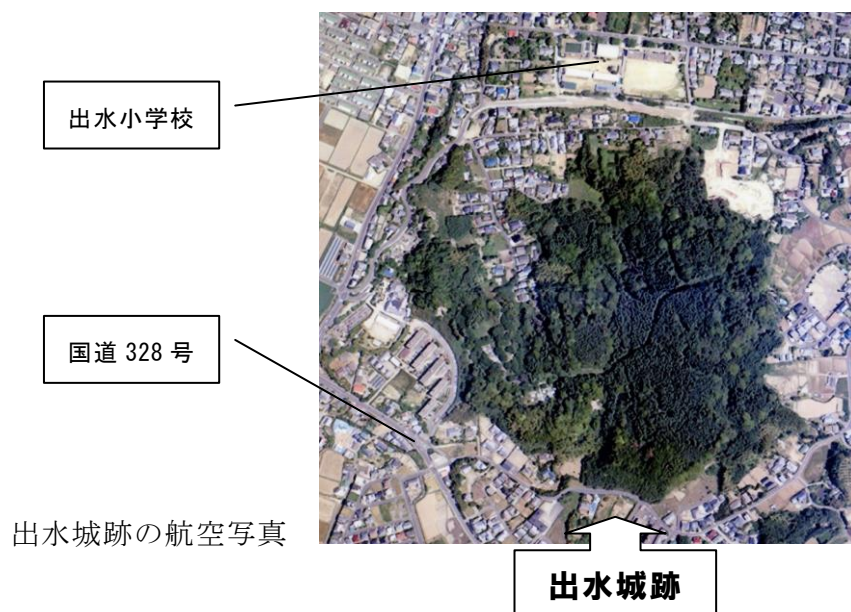
探検会当日は近隣で人気の高いウォーキング大会もありましたが、地元の山城に関心がある多くの方が本探検会に参加されました。

参加者は山城探検スタート地点でナタ、カマなどの道具を受け取り、歩行に邪魔な雑草や枝を取り払いながら進み入り、亀井山城跡の切立った曲輪のがけを下から見上げたり、防御用に作られた土居の上に立ったり、折れ曲がった空堀の中などをめぐり歩き、あたかも当時の戦人の気分を体感していたようでした。

本城跡では、一般社団法人野田郷の鬼塚清重さんからは亀井山城での武者行列やそこで取れるへゴでかごを作っていたことなどを、出水市文化財保護審議会委員の神信裕さんには亀井山城の地形について、同じく文化財保護審議会委員の上原憲一さんには亀井山城の歴史について、わかりやすくお話をさせていただきました。

このように、亀井山城跡の探検会は「足で歩き、目で見て、耳で聞く」と、郷土の歴史をまさに体感するというような探検会になりました。

次回は麓町の市指定史跡「出水城跡(花見ヶ城)」で開催予定です。



出水城跡の航空写真